鈴っ子

山形市立鈴川小学校　学校だより
令和６年２月20日（火）
第11号　校長　鈴木　伸治

気持ちをカタチに

お正月の能登半島地震のニュースを見聞きするたびに、私は２０１１年３月１１日宮城県沖を中心とする地震、日本における観測史上最大の地震、東日本大震災のことを思い出さずにはいられません。亡くなった方もたくさんいます。もちろん山形でも地震の被害は至る所で現れました。あれから１０年以上が経ちます。宮城県や岩手県、福島県では今でも尚、その時の傷跡が残っています。当時、停電が解消され、テレビをつけると繰り返し次の言葉の CM が流れていました。

「こころ」はだれにも見えないけれど、「こころづかい」は見える。

「思い」は見えないけれど、「思いやり」は誰にも見える。（AC ジャパン）

これは埼玉県の詩人：宮澤章二さんの「行為の意味」という詩からの抜粋でした。確かに「こころ」はだれにも見えません。でも「こころづかい」は見えます。同じように胸の中の「思い」は見えませんが、「思いやり」はだれにでも見えます。どちらも目に見えるのは積極的な行為だからです。あたたかい心があたたかい行為になり、やさしい思いがやさしい行為になります。気持ちがカタチになります。

鈴川小のみなさんの心の中には、あたたかで純粋な思いやりの心があります。その心は、たった一言の言葉がけで「こころづかい」として見えることがあります。言葉をかけることが苦手な人は微笑みかけるだけでも思いやりは伝わります。そっと手を貸す、黙ってそばにいてあげる。そんなことで？と思うかもしれませんが、どんなに小さな行為でも、やさしいこころづかい、あたたかな思いやりは確実に伝わる姿となります。

「こころ」は見えないけれど、「こころづかい」は見える。
「思い」は見えないけれど「思いやり」は見える。

転んでしまった１年生を介抱する６年生

短い言葉ですが、この言葉を忘れずに行動することができたなら、鈴川小の皆さん誰もが、これまで以上に、あたたかい気持ちになれると思います。学年の締めくくりの３学期、次の新たなステージへの準備の３学期、たくさんの人への感謝を忘れず、その気持ちをカタチにしながら、一日一日を充実した日々にしていけるようにしたいものだなと思っています。

◆野球しようぜ！大谷翔平選手からグローブが届きました

今、世界中で有名な野球選手と言えば？間違いなく大谷翔平選手はその一人に数えられるでしょう。昨年も、二刀流として超人的な活躍をしたのは記憶に新しいところです。

かねてから、ニュースで大谷選手が「日本全国すべての小学校にグローブをプレゼントする」ということで、本校にも届きました。右利き用のグローブが二つ、左利き用が一つ、いずれも大谷選手が使用しているグローブと同じもの（レプリカ）です。みんなに使ってほしいという大谷選手の強い意向を踏まえ、本校ではたっぷり使わせたいと思います。まずは、今現在、各学級でグローブを回覧し、子どもたちがグローブを見たり触ったりしているところです。

3月の行事予定

１日（金）	パワーアップタイム
４日（月）	６年生を送る会
８日（金）	パワーアップタイム
１１日（月）	校内研究全体会
１２日（火）～１４日（木）：卒業式学習	
１５日（金）	修了式／通知表配付
１８日（月）	卒業証書授与式
3/19（火）～4／6（土）	春休み
２５日（月）	お世話になった先生方とのお別れ会 いのちの日
４／７（日）始業式・４／８（月）入学式	

【ご連絡】

令和６年度の入学式は、4/8（月）と、山形市で統一されています。

それに伴い、入学式前日の７日は、日曜日ではありますが、始業式を行います。その分の振替休業日は、12 日（金）になります。変則的になりますが、あらかじめご了承ください。

子どもたちの日々の学習や暮らしの様子などを、学校ホームページでお知らせしています！
どうぞご覧ください。

https://www.suzukawa-e.ymgt.ed.jp/